

令和 3年度
香住第一中学校の教育

1 校 訓

自 立	協 同	責 任
○自ら判断し,正しく行動する力を育成する。	○自他を尊重し,互いに協力する態度を育成する。	○集団の一員として自分の役割を果たす態度を育成する。

2 学校教育目標

**ふるさとを愛し 心豊かで
自らやりぬく生徒の育成**

3 目指すこどもの姿

知・徳・体の調和のとれた生徒		
自ら学ぶ生徒 (Study)	思いやりのある生徒 (Support)	たくましい生徒 (Sports)
○基礎学力が定着し,自ら学ぶ意欲に満ちた生徒	○自他を大切に,元気で明るくさわやかな生徒	○基本的な生活習慣を確立し,健康な体と忍耐力を持った生徒

4 目指す学校の姿

明るく,活力ある,魅力ある学校
～ 生徒が笑顔で登下校する学校 ～

5 目指す教師の姿

**慈愛のまなざしを持ち,個を大切にする教師
専門性と人間性を鍛え,常に研鑽する教師
地域を知り,そこに住む人の想いをくみ取れる教師**

6 指導の基本方針

- ① 基本的な生活習慣の徹底 『時を守り(時間),場を清め(清掃),礼を正す(挨拶)』
- ② 生徒の実態を正確に共通理解し,協働して展開する効果的な生徒指導
- ③ PDCAサイクルを継続的に実践し,指導と評価の一体化を図った丁寧な学習指導
- ④ 学校運営の説明責任を果たし,家庭・地域と連携した開かれた教育活動の推進
- ⑤ 香美町「教育の重点」に基づき,中長期的な視野に立った魅力ある教育活動の展開

7 本年度の重点目標 ～ 進化(深化)と継続 ～

<p>学びの一中 (知)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着と効果的な家庭学習の意識付け <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れの提示と振り返りの時間確保によって、定着に視点を当てた授業展開に取り組む。 ・個に応じた指導を進め、話し合いや説明等、言語活動を取り入れた学習を推進する。 ・家庭学習の手引きを活用して、1時間は自分で計画した家庭学習に取り組む。 ・自学自習の仕方とICT活用能力の育成。 ○校内研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・年1回の全体研修会と年2回の部会を核とした小中一貫化計画を推進する。 ・道徳教育における小中連携を推進し、柴山小との合同研究と授業公開を実施する。 ・英語、造形、数学、道徳、読書等、諸研究に資する学習規律の再構築。 ○グローバル化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・英検IBAやESCampを活用して英語教育を一層活性化させる。 ・卒業時半数以上の生徒に、英検3級以上の実力をつけさせる。
<p>さわやか一中 (徳)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の三本柱「時を守り、場を清め、礼を正す」を中心とした学校の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・小中高あいさつ運動の取組を核として、あいさつ運動を積極的に推進する。 ・無遅刻記録の継続と、時間を守らせるための手立てを一層工夫する。 ・縦割り無言清掃を核として、クリーン作戦等校区の環境美化とボランティア精神を育成する。 ○人権尊重を基盤とした共に生きる態度の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級を核としたインクルーシブ教育システムの構築を、保護者と協働して進める。 ・「いじめゼロ」を目指し、学校と家庭が連携して未然防止、早期発見・早期対応に組織的に取り組む。 ・道徳科の授業を核として、全領域で取り組む幅広い人権教育を推進する。 ○不登校の未然防止と支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「居場所づくり」と「絆づくり」をキーワードとした温かい学級集団づくりを推進する。 ・気づきの感度を上げ、家庭やSC,SSW、関係諸機関との連携を密にした支援体制を強固にする。
<p>躍動する一中 (体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動・生徒会活動の活性化による心身共にたくましい生徒の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「ノー部活デー」の取組を進めると共に、「いきいき運動部活動」も活用しながら、心身を鍛える無理のない部活動を推進する。 ・開始から終了まで90分間の活動を工夫し、目的と目標の達成に自ら取り組むチーム作りをする。 ○一貫化教育における9年間を見据えた体育保健指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・体力運動能力調査結果を基に体力向上計画を立て、共修を踏まえた効果的な体育授業を構築する。 ・児童生徒の健康課題等の情報交換に努め、一貫化教育を踏まえた保健指導の充実を図る。 ○校歌の歌唱で育む愛校心 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で取り組める歌唱について工夫し、校歌が心のよりどころとなるような歌唱指導を行うことで、愛校心と全校生徒の一体感を醸成する。
<p>開かれた一中 (連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域とふれあい、ふるさとを誇りに思う生徒の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人的、物的資源を活用した体験活動と出前授業の充実を図る。 ・「香住海岸クリーン作戦」「佐津駅清掃」の継続実施と、関係諸機関との連携を一層強固にする。 ・関係機関と連携した「香住の産業」についての出前授業で、生徒のキャリアを積み上げる。 ・三番叟の鑑賞体験を行い、香住の伝統文化(兵庫県的重要無形文化財)について理解を深めさせる。 ○学校、家庭、地域、関係機関との連携と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・学校版教育環境会議やOS等を一層工夫して参加者の増加を図り、学校支援体制を充実させる。 ・学校HPを定期的に更新し、学校と家庭、地域を結ぶ情報ツールとして積極的に活用する。 ・ICT環境を活用し、保護者連絡を電子化することで、安全安心な学校づくりに資する。 ○働きやすい職場環境づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日やノー部活デーの完全実施と、保護者、地域への周知を図る。 ・「いきいき運動部活動」を基本とした適正で充実した部活動を推進する。 ・教職員の勤務時間の適正化を図り、望ましいワークライフバランスの保持に努める。